

環境県民フォーラムだよ！

VOL. 42 2018年10月1日 発行

平成30年度奈良県環境県民フォーラム総会を開催しました！
奈良県環境総合計画（2016-2020）を協働で推進していきます！



<第1部 総会>

4月18日に奈良県文化会館において、平成30年度総会を開催しました。新たな代表委員として就任された大石氏より、フォーラムの更なる発展に向け、会員相互がより一層連携・協働しながら、今年度についても事業計画を着実に推進していく旨挨拶がありました。続いて、ご来賓の奈良県景観・環境局 西村次長様よりご挨拶を賜り、県環境政策課からは西井課長、芳川課長補佐にもご参加いただきました。本総会には、学識経験者や団体等、計27名の委員が出席しました。



大石新代表（左）及び県景観・環境局西村次長（右）による挨拶

● 平成29年度事業報告・平成30年度事業計画について

平成29年度事業報告として、全体事業・分科会事業の実績報告及び収支決算と会計監査の報告があり、承認されました。次に、10人委員会委員の選任が行なわれるとともに、平成30年度事業計画及び予算案について審議を行い、満場一致で承認されました。各分科会の取り組みは下記のとおりです。

○各分科会の取組

<エネルギー分科会>

植樹バスツアーやエコクッキング教室の開催、エネルギー講演会の開催 など

<エコライフ分科会>

河川浄化への啓発活動、地域が育む川づくり、エコ見学会の開催 など

<自然環境分科会>

自然体験教室や自然環境セミナーの開催、菜の花プロジェクトの推進 など

<資源活用分科会>

資源循環の促進を図る学習会・見学会の開催、関係機関との連携による3Rの推進 など

● 寄付金授与及び感謝状贈呈式

イオンリテール株式会社様及び市民生活協同組合ならコープ様から環境県民フォーラムへの寄付を受けて、大石代表委員から感謝状が贈呈されました。イオンスタイル奈良の桐山誠夫様、ならコープ理事長の中野素子様にご出席いただきました。



イオンリテール株式会社様



市民生活協同組合ならコープ様

<第2部 フォーラム交流会>

総会に引き続き、交流会を開催しました。今年度は、分科会間の交流を深めるとともに新たな連携方策を模索することを目的としたワークショップを実施しました。各分科会座長による分科会の取組のプレゼンを行い情報共有を図るとともに、分科会同士の新たな連携について活発に意見交換することができました。

(事務局)



ワークショップでの意見交換

エネルギー分科会 ～エネルギーセミナーの開催～

2月28日（水）に奈良県文化会館においてエネルギーセミナーを開催し、計23名が参加しました。「エコな暮らしで家計をお得に！」をメインテーマに、家庭でできるエコについて講演を行いました。

初めに、ならコープの辻本氏より「～電力会社の選択で～地球にも家計にもやさしい暮らしを！」と題し、地球温暖化防止のためには省エネが重要であり、電気製品の買い換えや電気（電力会社）の選択、更には電力を自分でつくる（エネルギーの地産地消）など、家庭で始められる取組について分かりやすくご講演いただきました。

次に、奈良友の会より「ムダを省いてエコ生活 保温調理でおいしい料理」と題し、家庭でできるエコな生活の送り方について講演を行いました。食材の鮮度を保つ工夫や鍋帽子を使った保温調理、食品ロスに配慮した献立など、家庭ですぐに実践できる取組を紹介しました。

地球の資源であるエネルギーや水、食材などには限りがあります。環境のことを意識しながら継続的に取り組むことが大切です。「持ちすぎ、食べすぎ、使いすぎ」に気を付け、ムダを省いたエコな生活を実践していきましょう。（奈良友の会 村下）



ならコープ辻本氏の講演



奈良友の会の講演

エコライフ分科会 ～「大和川のきれい化」に向け啓発活動を実施～

6月10日（日）にならコープ大和高田店において汚水処理人口普及率の向上の働きかけとして、お客様を対象とした啓発キャンペーンを実施しました。お客様は大和高田市、葛城市在住の方が大半で、中には橿原市や桜井市の方もおられました。

まずは、下水道や浄化槽についての質問形式のアンケートを行いました。計77名の方にご協力をいただきましたが、正解率は平均で89%と高い結果となり、家庭から出る排水に関して高い知識をもっておられることがわかりました。また、合併浄化槽のミニチュアも展示し、水処理の仕組みについても理解を深めていただきました。

葛城市と大和高田市の汚水処理人口普及率（H28年度末）を見比べてみますと、葛城市は99.8%とほとんどのご家庭で汚水処理が完備されていますが、大和高田市では71.5%と葛城市に比べて低くなっています。大和高田市にお住まいのお客様にお伺いしたところ、下水道は近くまで来ているがまだ接続できていない方や単独浄化槽を使用されている方がおられるなど、費用面の問題も含め様々な課題があるようです。

今後の取組ですが、県南部地域の中でも汚水処理人口普及率が比較的高い黒滝村や天川村を対象に、行政の取り組み等を調査する予定です。（奈良環境カウンセラー協会 橋本）



アンケートの実施



合併浄化槽のミニチュアの展示

資源活用分科会 ～施設見学会の開催～

7月12日（木）に大阪府泉南市にある「山陽製紙株式会社」を見学しました。「環境に配慮した循環型社会に貢献すること」を経営理念に掲げ、再生紙を100%原料として製袋用のクレープ紙などを製造しておられます。

ここで作られている製品は、回収された段ボールやクラフト紙などを原料としています。製品に使用できない古紙やプラスチックはPPF化して熱資源とし、汚泥（製紙スラッジ）についてはセメントの増量剤として再生されています。単なるリサイクルにとどまらず、より高い付加価値を追求する「アップサイクル」という考え方を持って商品づくりに取り組まれておられます。

また、製紙業は膨大な電力と水を使用するため、省エネ（地球温暖化対策）・省資源に取り組むことが重要であるとの認識から、電力は雪解け水で水力発電する長野県水芭蕉発電所のものを利用しています。更に、水については地域の男里川の伏流水を使用し、使用後の排水は活性炭ろ過処理により、魚が住めるきれいな水にして自然に還されています。

その他、社会貢献活動の一環として、小学校に出前講座を行う「ドリカムスクール」や男里川の自然を守る活動など、地域と連携した環境保全活動にも熱心に取り組まれておられます。

（イオンリテール株式会社イオンスタイル奈良 桐山）



原料置場(段ボールや茶紙など)



製品化されたクレープ紙



排水を浄化する活性炭ろ過施設

自然環境分科会 ～メンバーの活動紹介と自然体験教室の予定～

● メンバー団体の活動紹介

＜御所市未来の環境を考える会＞

「土を元気に、川の水をきれいにしたい」との思いで、現在は「EMプロジェクト」をメインに活動しています。EM（自然界に生息する有用性微生物善玉菌を集合させたもの）・糖蜜液・煮沸した水・米ぬかを混ぜて「EMボカシ」をつくり、専用容器に入れた生ごみに混入することを繰り返して肥料をつくります。

この取組を通して、御所市が目指す市民・事業者等との連携による「ごみの減量化」に貢献できるよう、「EMボカシ作製会・講習会」を定期的で開催し、市の広報誌で広く参加を呼びかけています。参加者の皆さんが、野菜や花づくりにEMを活用され、地球に優しいリサイクルの達人になられることを願っています。（御所市未来の環境を考える会 榎原 昭）



EMボカシと生ごみ肥料で育てた葉牡丹

● 自然体験教室の開催予定

「落葉かき」（落葉の一斉清掃）【※落ち葉は肥料として再利用します】

- ・日時：11月23日（祝） 10：00～11：30（9：30受付）
- ・集合場所：天理市役所
- ・問合せ：090-3487-9446（中嶋）

「野草観察会と七草摘みをして七草粥を食べよう！」

- ・日時：2019年1月13日（日） 10：00～15：00
- ・場所：同志社大学経済学部里山キャンパス（奈良県生駒市高山町3215付近）
- ・問合せ：090-4768-8677（有山）

「やまと菜の花ねっと」

～菜の花だより～

● 菜種収穫量の報告

今年はやまと菜の花ねっと全体で700kgの収穫で、昨年より30kg減っています。気候のせい、今年も全国の菜の花プロジェクト全体で不作となっています。

菜種油の統一ブランド「奈乃葉菜油」が完売となるなど、認知度も上がってきていることから、量的な確保のため来年、再来年に向けて栽培する仲間を増やしていきたいと思っております。一緒に菜種を栽培していただける方、ご連絡をお待ちしております。 <問合せ：090-2380-0383（西田）>



畑一面に広がる菜の花(桜井市吉備)

● 各フィールドでの活動状況

天理・宇陀フィールド（活動団体：山の辺の道ファンクラブ・橘プロジェクトなど）

「菜の花鑑賞会」などを開催

今年の収穫量は予想以上に少なく、山の辺の道ファンクラブと橘プロジェクトで合わせて20kg、天理教旭日大教会で7kg、新しく栽培を始めた天理市南檜垣で30kg、宇陀市深野で23kgと昨年の半分程度となりました。菜種油にするとわずかですが、有効に使っていききたいと思います。

4月7日（土）に「菜の花鑑賞会」（主催：山の辺の道ファンクラブ）を天理市渋谷町で開催しました。青空コンサートやお楽しみ会などもあり、約70名の親子づれの方にご参加いただきました。少し寒い日でしたが楽しい一日となりました。

また、天理市内の3つの小学校で菜種に関する出前授業も開催しました。目の前で菜種が油と油かすに分かれて出てくる様子を、子供たちは真剣に見つめていました。搾った菜種油に火をつけて燃えることを確認した後、奈良墨の原料になる「すす」を指先につけて観察しました。最後は菜種油を使ったサツマイモなどの天ぷらを味わいました。菜種を通して循環型社会の大切さを知る良い機会になったと思います。



青空コンサートの様子

葛城フィールド（活動団体：エコ葛城市民ネットワーク）

菜種収穫の体験学習を開催

今年の菜種の収穫量は243.5kgでした。

4月14日（土）に「菜の花まつりアースデイinかつらぎ」を開催しました。昔遊びと題して、砂絵や割り箸を使った鉄砲づくりなど、たくさんの子どもが楽しんでくれました。また、新庄中学校吹奏楽部やかつらぎ太鼓保存会「TSUGUMI」による演奏もあり、とても賑わっていました。

5月中旬から6月中旬には、葛城市内の全小学校において、菜種の刈り取り・種落とし・搾油など菜種収穫の体験学習を実施しました。子どもたちは自分たちの背よりも大きくなった菜種をあっという間に刈り取っていきました。刈り取った菜種はブルーシートに並べ、さやの中にどんな風に種が入っているか、何個ぐらい種が入っているかなどを観察しました。そのあとは、並べた菜種の上を歩いて種落としをしました。



菜種の観察会

奈良フィールド（活動団体：大和の国・菜の花エコプロジェクト）

霊山寺に菜種油を奉納しました

今年の菜種の収穫量は40kgでした。

6月10日（日）に「記紀万葉の道巡りエコツアー」を行いました。参加者数は合計65人で、奈良市富雄の霊山寺に菜種油を奉納しました。私たちが菜の花プロジェクトを指導している富雄北幼稚園出身の子ども達も参加しており、「世界平和」を願った奉納をしました。そのあと、追分梅林での梅狩りや子どもの森での木工クラフト、菜種脱穀・搾油体験をしました。



霊山寺での菜種油の奉納

桜井フィールド（活動団体：さくらい菜の花プロジェクト）

菜種油がふるさと納税の返礼品に登録されます

今年の菜種の収穫量は352kgでした。

4月7日（土）に桜井市吉備のフィールドで「菜の花まつり」を開催しました。青空ライブや紙玉てっぽうづくりなどの催しや石窯ピザなどおいしいものもたくさん出され、菜の花の開花を楽しみました。4月27日（金）には同フィールドで「森のようちえん」・桜井第一保育所の子どもたちとサツマイモの苗を定植しました。ブルーベリーについては、今年はモグラ対策や防鳥網の設置など、実が育つまでとても手間がかかりましたが、例年どおり夏には収穫することができました。

菜種の収穫量は昨年比で減少しているものの、菜種油などの商品については、様々なところからオファーや問合せが増えています。今年の秋には、桜井市のふるさと納税の返礼品として菜種油が登録されることになりました。また、菜種油ドレッシングの新たな材料として天理市内で育てられた“青みかん”が加わりました。そのほか、菜種油を高級石鹸の材料としても提供していく予定です。



ふるさと納税返礼品の菜種油セット

～橘だより～（なら橘プロジェクト推進協議会）

橘こしょうが「料理マスターズブランド」に認定！！

5月20日（日）に農林水産省が創設した「料理マスターズブランド認定コンテスト」2018大会が大阪ハグミュージアムで開催されました。一流のプロの料理人（料理マスターズ受賞者）による厳しい審査を経てブランド認定を行うというものです。

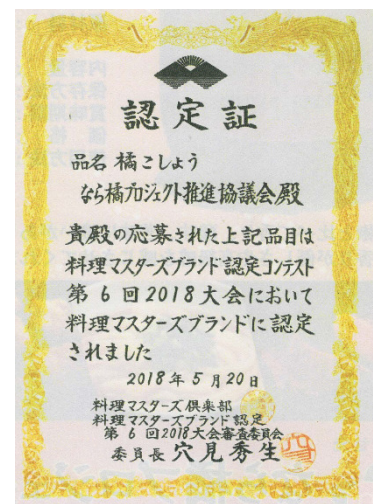
私達も「橘こしょう」を出品しておりましたが、審査の結果、みごと栄誉ある「料理マスターズブランド」の認定をいただきました！今後は、少しずつ販売を広げていく予定です。秋には大阪の見本市会場でブース展示も予定しています。

皆さんも、ぜひ大和橘の香りがさわやかな「橘こしょう」をご賞味ください。「橘こしょう」を購入ご希望される方は事務局までお知らせください。

<問合せ：090-4676-6463（城）>



橘こしょう



「料理マスターズブランド」認定証

イベント情報

環境啓発イベント「天理環境フォーラム2018」
(主催：「天理環境フォーラム2018」実行委員会)
が、今年の10月～11月の間、天理市内の各所で開催
されます！

今回は、イベント運営の中心的な団体である「NPO
法人 環境市民ネットワーク天理」の設立20周年を記
念して、奈良県出身の映画監督である河瀬直美さんを
講師にお迎えし、「里山資本を活かした地域づくり」
をテーマにお話をさせていただきます。

また、「私が考える『エコシティ・天理』」をテ
ーマとしたメインフォーラムをはじめ、環境関連団体・
企業等のパネル展示や体験イベント等も催され、盛り
だくさんの内容となっています。

皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加いただき、環
境について改めて考え、行動する良い機会になればと
思います。(イベントの詳細についてのお問合せは下
記まで)



開催チラシ

お問合せ

実行委員会事務局(中畷(なかじま)) TEL 090-3487-9446

賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。
当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名(ご希望の方)を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。



編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内

TEL: 0742-27-8732 E-mail: kankyo@office.pref.nara.lg.jp